

利點／損點 表

論題 「臺灣應該導入夏令制度」

利點	損點

定義・計畫例

何謂定義？ ～ 為了讓議論有交集，限定語句的意義。

何謂計畫？ ～ 辯題政策的具體實施方法（←考量「4W1H」）。

辯題「應該導入夏令制度」

定 義：所謂「夏令制度」，是指在日照時間較長的夏季，將時鐘調快一小時以有效利用陽光的制度。

計 畫：① 2009 年開始實施。

② 期間是從 5 月的最後一個週末～10 月的最後一個週末。

③ 調整時間為 1 小時。

定義・プランの例

定義とは？ ～ 議論がかみ合うように、用語の意味を限定すること

プランとは？ ～ 論題を実施するための具体的な計画（←「4W1H」を考慮して）

論題「サマータイム制を導入するべきである」

定 義：「サマータイム制度」とは、夏の長い日照時間を有効利用するために、夏の一定期間、一定時間を繰り上げることを指します。

プラン：① **2009** 年からの実施とします。

② 期間は **5** 月最終土曜～**10** 月最終土曜日とします。

③ 繰上げ時間は **1** 時間とします。

定義・計畫表

【正方】

我們正方主張 臺灣應該導入夏令制度。

首先，說明定義。這裡所謂 夏令制度，
是指 在夏季的一定期間，調整一定時間而言。

接著說明 3 點計畫。

第一、2009 年開始實施。

第二、期間是從 5 月的最後一個週末～10 月的最後一個週末。

第三、調整時間為 1 小時。

接下來，我們正方計畫所產生的利益，可以就以下 2 點說明。

利益 1 是 實現節約能源。

利益 2 是 藉由經濟波動效果來擴大國內的消費需要。

【反方】

我們反方對於 導入夏令制度 採取否定的立場。

依照正方的定義，我們反方的計畫是維持現狀。

那麼，依正方計畫所產生的損益可以以 2 點來說明。

第 1 個損益是 勞動的強化。

第 2 個損益是 由於社會成本的增加加重了人民的負擔。

定義・プランシート

【肯定側】

私たち肯定側は 台湾はサマータイム制度を導入するべきである と主張します。

まず、定義を述べます。ここで言う サマータイム制度 とは、
夏の一定期間、一定時間を繰り上げること を指します

次にプランを 3 点述べます。

第一に 実施は 2009 年度から とします。

第二に 期間は 5 月の最終土曜日から 10 月の最終土曜日まで とします。

第三に 繰り上げ時間は 1 時間 とします。

それでは、肯定側のプランによって生じるメリットを 2 点説明します。

メリット 1 は 省エネの実現 です。

メリット 2 は 経済波及効果による内需の拡大 です。

【否定側】

私たち否定側は サマータイム制度を導入 に否定の立場をとります。

定義は肯定側に従い、否定側のプランは現状維持とします。

それでは、肯定側のプランによって生じるデメリットを 2 点説明します。

デメリット 1 は 労働強化 です。

デメリット 2 は 社会コスト増加による国民の負担増 です。

正方立論的利益表

首先説明第一個利益產生的過程。

如果導入這個計畫的話，

因為提早 1 個小時開始活動，以及提前 1 個小時結束活動，所以可以節省家庭、公司、學校、公共設施等傍晚 1 個小時的電費以及冷氣費。

這樣，便可產生利益 1 的「實現節約能源」。

引用證據資料。根據 2003 年度經濟部試算結果，導入夏令制度的話，換算成原油後，即可省下 93 萬公噸的節約效果。 93 萬公噸相當於臺灣全體國民 66 天不看電視的電力消費量，所以節省了相當多的能源。

接著說明這個利益的重要性。

引用證據資料。根據 2004 年 12 月更新的核子電力百科事典 ATOMICA 的網頁指出，「現在臺灣所使用的能源約 95% 以上仰賴輸入，臺灣為了維持能源供給來源的穩定性，必須思考各種可行的替代方案。(中略)「為了建構非核能國家(非原子國家)」，如果一旦停止核能發電的話，臺灣政府已經決定採取天然瓦斯以及其他新能源作為替代能源，但是再生能源的開發計畫還沒有上軌道，屆時如果每 1 瓦的電費不調漲 1.3~1.5 元程度的成本的話，就無法維持現狀」，而且同資料也顯示臺灣的電力消費量每年以成長率 5.6% 的數字繼續攀升。

也就是說，臺灣並沒有穩定的能源基礎來支持國民的生產活動，為了有效利用能源就必須節約，這是非常重要的事。

肯定側立論のメリットシート

まず、なぜメリット 1 が発生するかを説明します。

このプランを導入します。

すると、活動が 1 時間早く始まり、早く終わるようになるため、家庭、職場、学校、公共施設などの夕方の照明代や冷房代が 1 時間分節約されます。

こうしてメリット 1 の「省エネの実現」が発生します。

証拠資料を引用します。2003 年度の経済産業省の試算によると、サマータイム導入で原油に換算して 93 万キロリットルの省エネ効果がある とあります。93 万キロリットルは日本の全国民が 66 日間テレビを見ない場合の電力消費量に等しく、かなり大きな省エネになります。

次に、なぜこのメリットが重要かということについて説明いたします。

証拠資料を引用します。2004 年 12 月更新の原子力百科事典 ATOMICA ホームページによると、「現在、台湾で使用されているエネルギーの約 95% 以上が輸入に頼っており、台湾はエネルギー供給の安定性を持続するため、エネルギーの多様化を打ち出している。(中略)「非核国家(脱原子力国家)」を構築するため原子力発電所を停止した場合の代替エネルギーとして、台湾政府は天然ガスと新エネルギーで補う方針を示しているが、目標である再生可能エネルギーの利用が軌道に乗る目途が立たず、電気代 1 ワット当たり 1.3~1.5 元程度のコストを上乗せしないと現状を維持出来ない」とあり、また同資料によると台湾の販売電力量は年間伸び率 5.6% で堅調に伸びています。

つまり、国民活動を支えるエネルギーの基盤が脆弱な台湾にとって、エネルギー有効活用のための省エネは必須であり、たいへん重要なのです。

反方立論的損益表

首先說明第一個損益產生的過程。

如果導入這個計畫的話，

這樣，便會發生損益 1 的_____。

引用證據資料。_____

接著說明這個損益的嚴重性。

所以，非常的嚴重。

否定側立論のデメリットシート

まず、なぜデメリット1が発生するかを説明します。

このプランを導入します。

すると、 _____

こうして、デメリット1の _____ が発生します。

証拠資料を引用します。 _____

次に、なぜこのデメリットが深刻かということについて説明いたします。

だから、とても深刻です。

質疑的基本概念

注意要點

- ① 不陳述自己的意見，只負責提問。
- ② 不讓對方掌控時間 → 盡量讓對方以「yes/no」回答問題
- ③ 僅只限於極其必要，否則不向對方做確認的提問 → 不給對方有重申自己意見或證據的機會
對自己不利的提問例：
 - ~是真的嗎？
 - 利益 1 是什麼？請再說一次。
- ④ 認為對方已經有充分準備時，不要給對方有重申論點及表現的時間。
對自己不利的提問例：
 - 在□中，您說「×××」，這是為什麼會×××呢？

對自己有利的質疑技巧

- ① 認為我方握有根據或證據，而對方沒有時，可以就此弱點提問。並且不必等到反駁時間，可以在質疑時間中否定對方的主張。
- ② 雖然我方沒有完全的證據資料，但對方的邏輯有所瑕疵時，只對有關的弱點部份提問當做「伏筆」，真正的重點(否定對方的主張)則「留一手」等待反駁時指出！

質疑的重點

- ① 對對方根據的資料矛盾點或問題點提問。
例：
 - 請您再說一次那是哪一國的(or 哪一年的)資料？
 - 您說「A即是B」，但是真的「所有的A都會是B」嗎？
- ② 拿出別的根據，批評對方的主張是錯誤的
例：
 - 有關□的問題，若以「××× (別的根據)」來判斷的話，「○○○ (對方所主張的要點)」是不成立的。是不是？
- ③ 資訊或證據不足，主張與證據資料有誤差
例：
 - 在○○○中，您並沒有提示證據資料。是找不到資料嗎？
 - 在□中，那個證據資料所提示的，只不過是「...」的意思而已。是不是？
 - 您說「可以節省 50 萬公升的石油」，那您知道那是全國總消耗能源的百分之多少嗎？
 - 在□中所引用文獻的作者是屬於×××的立場之人士，所以他本身本來就是採取肯定辯題的立場，並非是中立的人。不是嗎？

回答者？

- ① 盡可能詳細地回答
- ② 以清楚的口吻不疾不徐地回答 (並非拖延時間，為獲裁判的肯)

質疑の基本

注意するポイント

- ① 自分の意見を言う必要はない。
- ② 相手に時間を使わせない
→ 「はいいいえ」で答えられるような質問にするといい
- ③ 確認のための質問は必要な場合だけにする
→ 相手に自分の意見や証拠を繰り返させることになる
悪い質問例：・本当ですか
・メリット1は何ですか。もう一度言ってください。
- ④ 相手が十分に準備していると予想されることについて、相手にそれを繰り返してアピールさせる時間を与えない。
悪い質問例：・□で「×××」とおっしゃいましたが、それはなぜ×××なのですか。

有効な質疑の運び方

- ① 自分側に十分な根拠や証拠があり、相手にはないと思える場合、相手の弱点をつく質問をし、反駁まで待たずに、質疑の時間内に相手の主張を否定してもいい
- ② 自分側に十分な証拠資料はないが、相手のロジックが弱い場合、相手の弱点となる点を質問して、審判にアピールするが（伏線的に）、その主張は成立しないと指摘するのは反駁まで留めておく

質疑のポイント

- ① 相手の根拠の矛盾点や問題点を指摘する
例：・それは、どこの国の（or 何年度の）データなのかもう一度おっしゃってください。
・「AはBだ」とおっしゃいましたが、「すべてのAが必ずBになる」のでしょうか。
- ② 別の根拠を持ち出して、相手の主張は誤りだと主張する
例：・□についてですが、「×××（別の根拠）」と考えれば、「○○○（相手の主張のラベル）」は成立しないのではないのでしょうか。
- ③ 情報や証拠の不足、主張と証拠資料のズレ
例：・○○○という点について証拠資料をあげていませんが、ないのでしょうか。
・□でその証拠資料が言っているのは、たんに「・・・」ということだけですよね。
・□で「50万の省エネになる」とおっしゃいましたが、それが国内消費エネルギー全体量の何%になるのかご存知ですか。
・□での引用文献の筆者は、×××という立場の人ですから、本来論題を肯定する側の立場にあり、中立的な立場の人とは言えないのではないのでしょうか。

答える側は？

- ① なるべく詳しく返答する
- ② はっきりした口調で、ゆっくり話す（時間を延ばすためではなく、審判の確認のために）

第一反駁

反方：否定正方立論 M 的發生 or 陳述 M 的重要性不高

正方：否定反方立論 DM 的發生 or 陳述 DM 的嚴重性不高

→ 做好要旨說明表！

「要旨說明表」是為了有效地反駁對方的主張所作的準備。

- ① 參照環節關係圖，盡可能分別作出正方、反方的「推測對方的主張」。
- ② 針對「推測對方的主張」，填寫複數的回答以及其根據資料。
- ③ 比賽時，以能看到第一行為原則排放好，若發現和對方的立論有關的資料，立刻抽出以準備質疑或反駁。

< 要旨說明表例 >

對方的主張（例：導入夏令制度可以減少冷氣費）

回答 1：這是不可能的（否定）

證據資料：根據△△△、×××。

結論：亦即，冷氣費是完全不會變動的。

回答 2：相對地增加冷氣費的支出（有相反的狀況發生）

證據資料：根據△△△、×××。

結論：所以，冷氣費增加了。

回答 3：就算可以減少支出也不是很大的利益（不重要）

證據資料：根據△△△、×××。

結論：所以，冷氣所花的電力不是問題。

* 注：正方則針對反方的主張在「回答 3」改為「不嚴重」

第一反駁

否定側：肯定側立論の M の発生を否定 or M の重要性の低さをアピールする

肯定側：否定側立論の DM の発生を否定 or DM の深刻性の低さをアピールする

→ ブリーフを作っておこう！

ブリーフとは相手の主張に効率よく反駁するための準備。

- ④ ブレストシートやリンクマップを見ながら「予想される相手の主張」ごとに1枚ずつ作る
- ⑤ 「予想される相手の主張」に対して、複数の返答とその根拠となる資料を書き入れる
- ⑥ 試合の時は一行目が見られるようにずらして置き、相手の立論に関連するものがあれば、抜き出して質疑や反駁に備える。

<ブリーフの例>

相手の主張（例：サマータイム導入で冷房代が削減できる）

返答1：そんなことはありません（否定）

証拠資料：△△△によると、×××とあります。

結論：つまり、冷房代はまったく変化しないはずなのです

返答2：その反対に冷房代は増加します（それと反対の状況がある）

証拠資料：◇◇◇によると、〇〇〇とあります

結論：ですから、冷房代は増加するのです

返答3：たとえ削減できても大きなメリットはありません（非重要）

証拠資料：×××によると、◇◇◇とあります

結論：ですから、冷房にかかる電力は問題ではありません

* 注：肯定側の場合、否定側の主張に対して「返答3」は「非深刻」

第二反駁

- 反 方：• 否定第一反駁對方M的發生及其重要性。
- 正 方：• 否定第一反駁對方DM的發生及其嚴重性。
- 雙 方：• 就第一反駁時被對方反駁的論點再反駁。
- 重申未被對方反駁的主張
 - 「我們的○○主張未被反駁，所以對方應該也同意」
 - 重複立論陳述的 M/DM
 - 若能在此提出「理想的未來藍圖」就很棒！

反方第二反駁例

現在開始第二反駁。

首先反駁正方主張的第 2 點，最後再一次說明我們的主張。

正方第一反駁在利益 1 的發生過程 (or 重要性) 中說：

所以，他說產生了利益 1 (or 很重要)。但是，這是錯誤的說法。

所以這麼說，是因為_____。

(引用資料。依據×××，他說△△△。)

所以，正方的利益 1 不會發生 (or 不重要)。

接著，就正方反駁我們主張的部分，我要再反駁。

第 1 點，有關反方的損益 1 的發生過程 (or 嚴重性)，正方的第一反駁說：

所以，他說不會發生損益 1 (or 不嚴重)。但是，這是錯誤的說法。

所以這麼說，是因為_____。

(引用資料。依據×××，他說△△△。)

所以，反方的損益 1 是會發生的 (or 很嚴重)。

最後我為這次的辯論作個總結。現在，_____ 現狀 _____，

在這裡正方認為_____ 利益 _____。

但是，我們認為_____ 損益 _____，對此抱持否定的態度。此外，

因為_____ 比較利益和損益 _____

我們的主張應更勝過於正方。

(此外，_____ 提出未來理想的藍圖 _____。)

反方的第二反駁就到此結束。謝謝。

第二反駁

否定側：・第一反駁における相手のMの発生または重要性を否定する。

肯定側：・第一反駁における相手のDMの発生または深刻性を否定する

双方：・第一反駁で相手に反駁された点について再反駁する

- ・相手に反駁されずに残っている自分の主張をアピールする

→「私たちの〇〇の主張は反駁されていないので、認められたものと考えます」

- ・立論で述べたM/DMを繰り返してアピール

→ここで結びにふさわしい「理想的な未来像」を提示するとかっこいい！

否定側第二反駁シート

これから第二反駁を始めます。

まず肯定側の主張に 2 点反駁し、最後に、もう一度私たちの主張を述べさせていただきます。

肯定側は第一反駁のメリット 1 の発生過程 (or 重要性) で、

_____ と言い、

そのため、メリット 1 は発生する (重要である) と言いました。しかし、それは違います。

なぜかと言うと、_____ からです。

(資料を引用します。×××によると△△△とあります。)

ですから、肯定側のメリット1は発生しません (or 重要ではありません)。

次に、肯定側に反駁された私たちの主張について、再反駁いたします。

1 点目に、肯定側は第一反駁で、否定側のデメリット 1 の発生過程 (or 深刻性) について

_____ と言い、

そのためデメリット 1 は発生しない (or 深刻でない) と言いました。しかし、それは違います。

なぜかと言うと、_____ からです。

(資料を引用します。◇◇◇によると〇〇〇とあります。)

ですから、否定側のデメリット 1 は発生するのです (or 深刻なのです)。

最後の今回のディベートをまとめさせていただきます。現在、_____ 現状 _____、

そこで肯定側は、_____ メリット _____ と主張してきました。

しかし、私たちは _____ デメリット _____ と述べ、それを否定してきました。

そして、_____ メリットとデメリットの比較 _____ ので、

私たちの主張が、肯定側を上回っていると考えています。

(そして、_____ 理想の未来像の提示 _____ のではないでしょうか。)

これで、否定側の第二反駁を終わります。ありがとうございました。

正方第二反駁表

現在開始第二反駁。

首先反駁反方主張的第__2__點，最後再一次說明我們的主張。

反方第一反駁在損益__1__的發生過程（or 嚴重性）中說：

所以，他說發生了損益__1__（or 很嚴重）。但是，這是錯誤的說法。

所以這麼說，是因為_____。

（引用資料。依據×××，他說△△△。）

所以，反方的損益1不會發生（or 不嚴重）。

接著，就反方反駁我們主張的部分，我要再反駁。

第__1__點，有關正方的利益__1__的發生過程（or 重要性），反方的第一反駁說：

所以，他說不會發生利益__1__（or 不重要）。但是，這是錯誤的說法。

所以這麼說，是因為_____。

（引用資料。依據×××，他說△△△。）

所以，正方的利益1是會發生的（or 很重要）。

最後，我為這次的辯論作個總結。現在，_____ 現狀 _____，

在這裡我們主張_____ 利益 _____。

但是，對此雖然反方認為_____ 損益 _____。

因為_____ 比較利益和損益 _____

我們的主張應更勝過於反方。

（此外，_____ 提出未來理想的藍圖 _____。）

正方的第二反駁就到此結束。謝謝。

肯定側第二反駁シート

これから第二反駁を始めます。

まず否定側の主張に 2 点反駁し、最後に、もう一度私たちの主張を述べさせていただきます。

否定側は第一反駁のデメリット 1 の発生過程 (or 深刻性) で、

_____ と言い、

そのため、デメリット 1 は発生する (深刻である) と言いました。しかし、それは違います。

なぜかと言うと、_____ からです。

(資料を引用します。◇◇◇によると○○○とあります。)

ですから、否定側のデメリット 1 は発生しません (or 深刻ではありません)。

次に、否定側に反駁された私たちの主張について、再反駁いたします。

 1 点目に、否定側は第一反駁で、肯定側のメリット 1 の発生過程 (or 重要性) について

_____ と言い、

そのためメリット 1 は発生しない (or 深刻でない) と言いました。しかし、それは違います。

なぜかと言うと、_____ からです。

(資料を引用します。☆☆☆によると×××とあります。)

ですから、肯定側のメリット 1 は発生するのです (or 重要なのです)。

最後の今回のディベートをまとめさせていただきます。現在、_____ 現状 _____、

そこで私たちは _____ メリット _____ と述べ、それを主張してきました。

それに対して、否定側は、_____ デメリット _____ と主張しましたが、

_____ メリットとデメリットの比較 _____ ので、

私たちの主張が、否定側を上回っていると考えています。

(そして、_____ 理想の未来像の提示 _____ のではないでしょうか。)

これで、肯定側の第二反駁を終わります。ありがとうございました。

理由根據卡

→ 所謂理由根據卡，是指把收集的資料卡片化。從立論到正式比賽皆可使用。
可分為正方用以及反方用。把論點分類整理好。

書寫內容如下：① 第一行記下要點、② 記錄資料的出處、③ 引用文（或是親自謄寫，或是黏貼複印的資料）、④ 整理、小結（我方的主張）。

<理由根據卡例>

否定 A-5
<p>【要 點】 導入夏令制度必須花費龐大成本。</p> <p>【作 者】 ○○大學××學院教授 山田一郎</p> <p>【出 典】 「導入夏令制度的成本」『朝日新聞』（2001. 5. 15.）</p> <p>【引用文】 「……………」 ……………」 ……………」</p> <p>【整 理】 花費這些成本等於抵消了省下能源的 40%，加上夏令制度開始以及結束時換季所導致的混亂，實際付出的社會成本比想像的要多。</p>

エビデンスカード

→ エビデンスカードとは、集めた資料をカード化したもの。立論作成から本番まで使用できる。
肯定側用と否定側用に分ける。それから、論点ごとに分けて整理しておく。

書き込む内容は以下の通り；① 一行目に要点を書く、② 資料の出典を書く、③ 引用文（手で写したもの **or** 実際の資料のコピーを貼り付けたもの）、④ まとめの文（自分たちの主張）。

<エビデンスカードの例>

否定 A-5
<p>【要 点】 サマータイム導入にはコストがかかる。</p> <p>【著 者】 ○○大学××学部教授 山田一郎</p> <p>【出 典】 「サマータイム制導入のコスト」『朝日新聞』（2001.5.15.）</p> <p>【引用文】 「……………」 ……………」 ……………」</p> <p>【ま と め】 これだけのコストがかかることで省エネ分が約 40%相殺され、またサマータイム開始と終了の2回の時間の切り替えが招く混乱を考えると、実際の社会的コストはもっと大きいと考えられる。</p>